

AEOハンドブック 改訂版

2026年1月7日発行

福田浩昌・郡山清武・松本敬・浦井茂穂・小阪好洋 共著

AEO制度の概要を詳細に解説。担保の取扱い緩和等もカバー！

2005年、WCOは貨物のセキュリティ管理と法令遵守体制が整備された事業者を税関が認定するAEO（Authorized Economic Operator）制度を策定し、現在世界の90以上の国・地域において導入されています。

我が国では、2006年3月に輸出者を対象としたAEO制度が導入され、その後順次対象を拡大し、国際物流におけるサプライチェーンの安全確保と貿易の円滑化を実現する制度として整備されてきました。

我が国においても制度導入後約20年を迎え、制度として成熟しつつある一方、その間の国際物流環境の変化やAEO事業者の要望に対処する等の目的で、AEO制度も改正が加えられ、その運用も年々改善されてまいりました。そこで、本書の初版を発行した2021年から5年が経過したことも踏まえ、このたび

改訂版を発行することといたしました。

本書では、関税法の各手続に分散して規定されているAEO関連法令・通達を分かりやすい形式でまとめて掲載するとともに、今回の改訂では、2022年4月の「通い容器に関する免税手続の簡素化」や2024年10月の「特例輸入者による特例申告納期限延長に係る担保の取扱い緩和」等のAEO事業者が受ける新たなメリットを反映し、さらにAEO事業者の業務での不適正事案の大幅な改訂を行い、具体的な優良事案を新たに多数追加し詳細を解説しています。

既にAEOを取得している事業者の方には、自社の取り組みに対する確認書として、これからAEOを取得しようとしている事業者の方にとっては、取得に向けた作業の手引書としてご活用いただける内容となっています。

A5判 526頁／定価：3,960円（本体3,600円+税10%）／送料380円／ISBN:978-4-88895-544-7